

≪合併15周年記念≫  
 久喜市の未来を語らうタウンミーティング  
 ～住み続けたいまちの実現に向けて～

日 時：令和7年10月11日（土）10時～11時15分  
 場 所：ふれあいセンター久喜  
 参加人数：63名

【意見交換要旨】

①. 健康体操教室の再開について

主な意見・提案	市長の回答（要旨）
<p>市のプロモーションビデオは魅力的なため、より広く活用してほしいです。</p> <p>また、コロナ禍で中断したメタボ・フレイル対策の体操教室が再開されていないため、健康維持の観点から早期再開を要望します。</p>	<p>広報動画は今後も積極的に活用します。</p> <p>体操教室については現在の実施状況を精査し、より多くの方が参加できるよう体制を再検証します。</p> <p>「健幸・スポーツ都市」を掲げる本市として、予算面を理由に停滞させることなく、市民の皆様の健康増進に向けた支援を強化してまいります。</p>

②. 小中学校などの公共施設における安全確保と改修計画について

主な意見・提案	市長・副市長の回答（要旨）
<p>小中学校の外壁落下の報道を受け、事故防止と安全確保が急務であり、基準に基づいた定期点検と、計画的な予防保全（事前改修）を徹底してほしいです。</p>	<p>（市長）児童生徒の安全を最優先とし、財政調整基金を活用して全ての小中学校の改修を優先的に進めています。令和9年度中には全校の外壁・屋上防水改修が完了する見込みです。</p> <p>（副市長）3年ごとに全公共施設の法定点検を実施しています。打診点検を徹底し、不具合の早期発見・早期修繕による予防保全に取り組んでまいります。</p>

③. 放課後における児童の居場所確保について

主な意見・提案	市長・教育長の回答（要旨）
<p>青毛小学校区内は放課後の遊び場が少なく、特に雨天時の居場所に困っています。</p> <p>学区内での行動制限もあるため、公共施設や空き教室をスタッフ配置のうえ開放するなど、居場所の拡充をお願いします。</p>	<p>（教育長）低学年の行動範囲や安全を考慮し、原則学区内での活動を指導しています。毎日ではありませんが、放課後子ども教室があるので、ご利用ください。</p> <p>（市長）公共施設をこどもたちの居場所として有効活用することは重要と認識しています。地域の大切な宝であるこどもたちが安心して過ごせるよう、施設開放のあり方について検討してまいります。</p>

④. 国際交流および多文化共生の推進について

主な意見・提案	市長の回答（要旨）
<p>久喜市の人口社会増の背景には外国人転入者の増加があります。今後、国際交流や多文化共生の推進を目的とした協議の場や仕組みを設けるべきではないでしょうか。</p>	<p>外国人人口の増加は、市内にしながら国際交流ができる多文化共生時代の到来を意味します。</p> <p>日本語学習支援を含め、全ての外国籍市民が安心して暮らせる「優しいまちづくり」を推進し、共生社会の実現に努めてまいります。</p>

### ⑤. 鷺宮福祉センターの存続と施設再編について

主な意見・提案	市長の回答（要旨）
<p>鷺宮福祉センターは開所から 49 年が経過しますが、適切な維持管理（長寿命化改修）を行うことで継続利用は可能です。持続可能な社会の観点からも、安易な除却ではなく改修による活用を検討してほしいです。</p>	<p>市全体で進めるアセットマネジメントに基づき、老朽化の著しい施設から順次、集約・削減を行っています。同センターは区内で最も老朽化が進んでいるため除却の対象となりますが、今後は近隣のコミュニティセンターなどを代替施設として活用いただけるよう案内してまいります。皆様の健康維持活動を支える環境の確保に努めます。</p>

### ⑥. 久喜駅西口の再開発と活性化について

主な意見・提案	市長の回答（要旨）
<p>久喜駅西口は長年衰退が続いており、若者や子育て世代に魅力が乏しいです。総合振興計画に掲げる活性化について、今後 10 年でどのように変えていくのでしょうか。</p>	<p>西口再開発には地権者の皆様の協力が不可欠です。過去に計画が頓挫した経緯もありますが、本市の玄関口として再生させる好機は今しかないと確信しています。現状維持ではなく将来を見据えた変革が必要であることを地権者へ丁寧に説明し、次世代が希望を持てる魅力あるまちづくりを推進してまいります。</p>

### ⑦. 久喜市公式キャラクターの制作について

主な意見・提案	市長の回答（要旨）
<p>合併から 15 周年を機に、各地区の既存キャラクターとは別に、市全体のシンボルとなる「久喜市公式キャラクター」を新たに制作してほしいです。</p>	<p>オール久喜で一体感を醸成し、市全体を盛り上げるシンボルとして、公式キャラクターの必要性は理解いたします。多角的なシティプロモーションを展開し、市の魅力を広く発信する手法を検討していく中で、公式キャラクターについても検討してまいります。</p>

### ⑧. ゼロカーボンシティの実現に向けた施策の方向性について

主な意見・提案	市長の回答（要旨）
<p>「ゼロカーボンシティ」を宣言する一方で、新ごみ処理施設を建設することに矛盾を感じます。市政の方向性を再考すべきではないでしょうか。</p>	<p>ゼロカーボンの実現には多くの課題がありますが、温室効果ガス削減への強い決意に変わりはありません。久喜新電力株式会社による電力の地産地消や、太陽光発電・蓄電池への独自補助など、本市ならではの先駆的な取り組みを推進しています。新施設の運用を含め、あらゆる施策を通じて排出量削減を徹底し、持続可能な社会の構築に努めてまいります。</p>